

## 三鷹市立大沢台小学校 令和5年度【生活】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年長児との交流を通して、喜んでもらえるように工夫して準備をしたり、発表したりすることができた。</li> <li>・アサガオの世話や観察、リース作りを通して、植物の親しみが増し、感じたことや分かったことなどを表現することができた。</li> </ul> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の興味・関心をさらに深めるための、人材確保や、環境確保が難しい場面があった。</li> </ul>	<p>〈学習状況の現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生から学校を紹介されたことで、教室の場所を知ったり、より調べてみたいと校内の施設や関わっている人への興味・関心が高まった。</li> <li>・先生方へインタビューをしたことで、学校生活では、様々な人が関わっていることやいろいろな仕事をしていることなどを理解することができた。</li> <li>・アサガオの世話や観察に、興味・関心をもって活動することができたが、前回の観察と比べて変化したことや成長した様子を表現することが難しい児童がいる。</li> <li>・「なつとなかよし」では、夏に適した遊びを思い付くが、どんな遊びかを説明したり、面白さを伝えたりすることが苦手な児童が見られた。</li> </ul>	<p>〈指導方法の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の変化や成長の様子を調べたり、変化の様子を想像したりしながら観察することが難しい。</li> <li>・見付けた物、事、人について、先生や友達に意欲的に話したり、友達の話を開こうとしたりする活動が十分にできなかった。</li> </ul> <p>〈授業改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・じっくり観察して見付ける・比べる・例える・試す活動を大切に、気付きを引き出し、全員で共有できるようにする。</li> <li>◎ペアや少人数グループで気付いたことを共有し、関心を高められるようにする。必要に応じて学習用タブレット端末等を使って、考えを共有し合う。</li> <li>・伝え合い方のヒントのようなものを提示したり、学習用タブレット端末を使って、動画で共有し面白さをペアやグループで出し合って伝え方を児童から引き出せるように授業計画を行う。</li> </ul>
第2学年	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人にインタビューに出たり、野菜の栽培について教えに来ていただいたりすることで、地域への興味・関心が高まり、大沢のまちや人を自慢する気持ちが育った。</li> <li>・自分たちで調べたことを羽沢小の2年生に伝える活動を設定したことで、どのように伝えるかを自分たちで話し合い、解決しようとする力が育ってきた。</li> </ul> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちへの興味は高まったが、自分とのかかわりについては、こちらから問いかけないと意識が深まっていけない。</li> <li>・子どもたちが興味をもったことについてさらに調べに行くなど、学習を深めるための時間の確保やサポート態勢を整えることが難しい。</li> </ul>	<p>〈学習状況の現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生との交流したり、地域の人々や自然や生き物と積極的に関わろうとしたりする姿勢が見られた。</li> <li>・昨年度までは、自然や地域社会との関わりについて考える機会が少なかつたため、自分から知ろうとしたり行動したりすることができない児童もいた。</li> <li>・2年生になって初めて経験する活動が多く、学習自体を楽しんでいるが、自分たちの生活などに結び付けたり取り入れたりする意識は低い。</li> <li>・1年時の学習により学校生活を支える人がいることについては気付いたが、まだ地域までは興味が向いていない。また、自分自身の良さや成長にも気付く機会が少ない。</li> </ul>	<p>〈指導方法の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生との交流や地域人財や施設と関わる活動が増えたが、事前の打ち合わせや日程調整等が難しかった。</li> <li>・活動や発見を自身との関わりで捉えられる指導の工夫や表現方法の幅を更に広げていく必要がある。</li> <li>・学ぶ中で自ら課題を見付け、それを解決する方法を考えたり行動したりするところまで指導できていない。</li> </ul> <p>〈授業改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や人と交流する活動を計画的に行い、自分との関わりを考えながら行動できるような視点を与える。</li> <li>・「計画」、「活動」、「振り返り」、「交流」の学習の流れをつくることで、お互いに情報や表現方法を共有し、次の活動や他教科の学習にもつなげられるようにする。</li> <li>◎地域やいろいろな人と交流する中で、自ら知りたい、学びたいという課題を見付け、自分なりの方法で解決しようとする意欲をもてるようにする。</li> </ul>